

信越病院 移転建替に伴う再整備事業について

(信濃町立) 信越病院
開設者 信濃町長 横川正知

- 町では、現行病院の建替を計画しており、年内に「基本計画」を策定する予定
- 建替に当たり、病床規模や診療科など病院機能の基本的な事項について、構成員各位のご理解をいただきたい。

【協議事項：信越病院が担う役割・今後の方向性】

1 病院再整備計画の概要

<建替の必要性>

現施設は、昭和46年建築のため老朽化が進み、現在の建築基準に不適合

項目	現行	再整備計画
開設	昭和46年	令和7年4月(予定)
病床数	97床 (一般47・療養50)	52床 (一般32・療養20)
開設地	信濃町柏原	旧柏原小学校跡地
診療科	9診療科 (内科、外科、整形外科、小児科、眼科、 リハ科、麻酔科、泌尿器科、脳神経外科)	6診療科 (内科、外科、整形外科、 小児科、眼科、リハ科)

2 現在の役割

- ・ 町内唯一の病院として、内科、整形外科の慢性疾患を主とした医療を提供
- ・ 圏域内の医療機関と連携し、専門科医師の派遣を受け、急性期病院と在宅医療をつなぐ中間機能を担っている。
- ・ 信濃町における地域包括ケアシステムの中で、在宅医療を担っている。
- ・ 救急告示病院として、救急医療を提供する。
- ・ 一般診療のほか、健診、予防接種、学校医等の保健予防、公衆衛生業務を担っている。

3 新病院の役割

- ・ 地域医療構想における長野構想区域では、回復期機能の充実が課題となっていることから、病床45床を削減したうえで、引き続き、急性期病院と在宅医療をつなぐ中間機能を担うとともに、圏域内の医療機関と連携し、専門科医師の派遣を受け、回復期機能を中心に、構想区域内での機能分担に貢献していく。
- ・ 円滑な在宅療養への移行のため、リハビリテーションや退院指導の充実・関係諸機関との連携を強化していく。
- ・ 感染症対応について、一時受入を可能とする部屋や、トリアージ可能な動線の確保が可能な施設整備を行う。
- ・ 救急告示病院として、引き続き、救急医療を提供する。
- ・ 一般診療のほか、健診、予防接種、学校医等の保健予防、公衆衛生業務を引き続き、担う。

(その他)

○介護療養病床削減に対する対応方針

- ・一定数の患者が在宅療養に移行することが見込まれ、地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携が重要となることから、引き続き、町内唯一の病院として積極的に取り組む。
- ・第8期介護保険事業計画の中で、近隣市町村の動向も注視しながら、規模を含め、新たな居宅系・施設系施設の整備について検討する。

○再編ネットワークの検討

- ・今後改定する新公立病院改革プランに基づき、共同購入等による医薬品、診療材料等の効率的調達や、医療情報の共有等による医療提供の連携体制の構築などのネットワーク化について、今後長野構想区域内の皆様にご相談させていただきたい。

最近の病床数の動向について（長野医療圏）

長野保健福祉事務所

1. 有床診療所の廃止について

産婦人科矢嶋医院

長野市東和田 689-5

開設者： 矢嶋 元

診療科目： 産科 婦人科

病床数： 一般病床 9床

廃止年月日： 令和2年9月12日

2. 有床診療所の病床の廃止について

医療法人みすゞ会 星のさとクリニック水野医院

長野市篠ノ井小松原 2359-25

開設者： 医療法人みすゞ会

診療科目： 内科 麻酔科 脳神経外科

病床数： 一般病床 3床 療養病床 16床

病床の廃止： 令和2年9月16日